

# ななかまど

NANAKAMADO

Hokkaido Information University Magazine

Volume 76

Published on September 20, 2021

# Reboot

特集

新しい時代へ向かって





# TOP

Our president says

“ We hope you lead a fulfilled college life. ”

What does he mean?

# INTERVIEW

*Jun Nishihira*

「いちばんやりたいのは学生のキャンパスライフの充実」

そう語るのは、今年4月、本学の新学長に就任した西平 順教授。  
教員・職員・学生が相互につながり、知識や情報を交換しながら互いに成長し、学生が生き生きと大学生活を送ることができるキャンパスづくりを目指しています。

本インタビューでは、学長の意外な一面から、学長として大学をどのようにしていきたいかを、教員・職員・学生それぞれへの願いも交えて聞きました。



北海道情報大学 学長

西平 順 にしひら じゅん

## < 略歴 >

- 1979年 3月 北海道大学 医学部 医学科 卒業
- 1979年 5月 神奈川県横須賀米海軍病院 インターン
- 1979年 5月 医師免許取得 (第246754号)
- 1980年 4月 北海道大学 医学部 内科学第二講座 医員
- 1983年 4月 北海道大学 医学部 生化学第二講座 研究生
- 1984年 10月 米合衆国ノースカロライナ州ウェークフォリスト大学付属ポウマングレイ医学部 研究員
- 1986年 6月 北海道大学 医学部 生化学第二講座 助手
- 1992年 7月 北海道大学 医学部 中央研究部 講師
- 1998年 10月 北海道大学 大学院 医学研究科 生体機能学専攻 分子生化学講座 分子生物学 (中央研究部) 助教授
- 2001年 12月 北海道大学 大学院 医学研究科 生体機能学専攻 分子生化学講座 分子医化学分野 助教授
- 2004年 9月 株式会社ジェネティックラボ 取締役 研究開発部長
- 2006年 9月 北海道情報大学 経営情報学部 医療情報学科 教授
- 2013年 4月 北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科 教授
- 2017年 4月 北海道情報大学 副学長
- 2021年 4月～ 北海道情報大学 学長



——先生の経歴で気になるのは、米海軍病院でインターンをされた、という部分でした。そこではどのような経験をしましたか？

1979年に北大医学部を卒業した後すぐ、横須賀にある米海軍病院で約1年、インターンに行ったんだけど、そこでは内科、外科、小児科、産婦人科と、ローテーションでいろんなことを学ばせてもらって、手術もやったし、子どもの診察もしたし、分娩では50人くらいの赤ちゃんを取り上げました。その中で、生化学とか分子生物学といった基礎医学の分野に興味を持って、今に続いています。その後社会に出て、ワクチン研究なども手がけました。

——医師に興味を持たれたきっかけを教えてください。

自分の知識を生かして一生仕事ができると思ったのが一番ですね。あとは、私は勉強が意外と好きなので、やってきたことが積み上げられるというところに魅力を感じました。

——先生は「知識」というものをとても大事にされていますね。

「知識」があれば様々な視点で物事を見ることができずからね。患者さんの診察でいえば、知識があることで、身体の中のいろんな反応だとか、そういうのが分かっていると、プラスアルファでそこで何が起きているのかとか、ちょっと違う観点から見られるんですよ。知識は、長くやっていくためのエネルギーだと思っています。



——その他に、力を入れたいことは？

大学院教育の強化と、学生のキャンパスライフの充実ですね。

——大学院教育の強化とは、どのようなことでしょうか。

今後社会では、とにかくスキルを持った人、つまり知識だけではなくて、それを実際に使える人が求められてくる。そういう人材を育てるためには、覚えた知識を実践する場をどんどん提供していかなければいけない。ただ、それをやろうとすると、4年間では少し時間が足りない。なので大学院の2年間も合わせた6年間で、どこからも求められるような人材を育てる、ということをやっていきたい。

——学生のキャンパスライフの充実についても教えてください。

実はこれが一番やりたいことなんだけど、大学生活をとおして、人間性豊かな子を育てたいんですよ。大学というのは、社会とはやっぱり少し違うところで、違う環境で違う感覚を養うところなんです。講義だけではなくて、大事なのはやっぱり、部活・サークル・文化活動といった、横のつながりを育んでくれるもの。横のつながりができれば、大学が面白くなる。大学が面白くなると、みんな大学に来るんですよ。そうすれば、お互いに教えあったり、新たなつながりができたり、大学に来るだけでいろんなものが吸収できる、

——そうした考えは、今後大学の方針にも反映されていくのですか？

もちろん「知識」は大事なんだけど、それ以上に私がやりたい、重要だと思っているのは「つながり」、これを大事にしたい。そしてこれを考えるときに念頭に置いていただきたいのが、「学生も大学の構成要員である」ということ。ですので教員・職員の皆さんには、学生に「教える」のではなく、構成員として「育てる」という意識を持っていただいて、教員・職員・学生全員で情報を共有して、この3つでうまく回転していくようにしたい。

——そのためには、教職員の意識変革が必要ですね。

そう。マインドセットを変える必要がある。学生も昔とは違うし、自分たちに馴染みのある昔ながらの教育方法は今の学生とマッチしない部分もあると思うから、どんな風にするか学生は育てていくかを考えて、新しい教育に対して前向きな気持ちを持って取り組んでもらいたい。教養担当の先生とか専門担当の先生とか、そういう垣根も取っ払いたい。もちろん意識変革のためには教職員の教育も必要だと考えていて、今後、FD・SD<sup>\*</sup>をもっと増やそうとしているところです。

——職員に対して、期待することは？

職員の皆さんには、全員がプロフェッショナルになってほしい。昔ながらの事務職というのではなくて、例えばマネジメントの部分で、先生方にアドバイスができるくらいになってもらいたい。そういう面でも、スタッフ教育ってすごく大事だと思っています。

成長できるか。だから、講義に関するだけでなく、そうしたアメニティ（施設環境の充実度・快適性）の評価が、本当に必要になってくると思っています。

——勉強だけでなく、学生たちには大学だからこそできる活動にも力を入れてほしいと。

そう、そうした活動をとおして、たくさん失敗して、そして人間的な強さを少しずつ作るというか、大学は、学生にそのヒントや機会を与えられる場所でありたい。学生が社会に出た後、世の中の苦しさを味わったときに、大学時代を振り返って、「ああ、あのキャンパスライフはすごく良かったな」と感じて、それを少し力にしてまた前に進んでいける、そうした環境を作ってあげたい。今後は、学生との連携を強くなるような仕組みをどう作っていくか、これは教職員と一緒に強化していかなければいけないことだと思っています。

——縦横様々なつながりが自然に育まれる新しい時代のキャンパスづくり、とても楽しみです！ありがとうございました。

(聞き手：小田島、似鳥)

<sup>\*</sup>FD (Faculty Development) : 主に教員に対する「教育の質向上に向けた活動」を指す  
SD (Staff Development) : 「教職員の職能開発に向けた活動」を指す



UNIVERSITY VACCINATION

# 新型コロナウイルス 大学拠点接種（職域接種） スタート

6月29日（火）、本学体育館に設置したワクチン接種会場にて、約5,000名を対象にした大学拠点接種（職域接種）を開始しました。本学の学生、教職員のみならず、地域と連携し江別市内保育士、幼稚園教諭や小中学校教職員など、より多くの人へのワクチン接種を行っています。

接種は1日あたり約500名。西平学長（医師）を筆頭に、医師や看護師の資格を持つ教職員や、健康情報科学研究センターの職員を中心に、7月からは医療情報学部の学生も加えて、約80名のスタッフ体制で行っています。

本学には臨床工学技士などの医療従事者を狙っている学生、健康情報科学研究センターという、大規模な臨床試験を行う機関もあり、医師や看護師といった医療従事者を確保できていたことから、「打ち手不足」という問題に悩む大学や企業が多い中、早期にワクチン接種を開始することができました。

9月の接種終了までに本学学生の約7割が接種予定※です。ワクチン接種を終えたからと言って、油断のできない状況は続きますが、学生のキャンパスライフを一刻も早く正常な状況にできるよう、今後とも感染対策に取り組んでいきます。

※8月23日現在予約数



ワクチンの準備



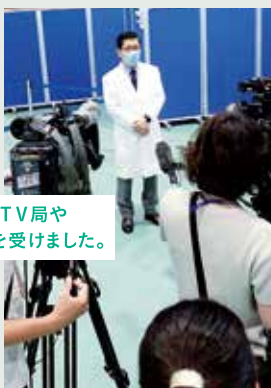
問診の様子（佐藤 裕二 医療情報学部長）



接種の様子（西平学長）



接種初日は、多くのTV局や新聞社の方の取材を受けました。



接種会場の様子



## 北海道情報大学 学位記授与式



令和2年度

令和3年度

## 学位記授与式・入学式 挙行

2年ぶりの開催となった学位記授与式と入学式。

保護者の皆さまにも式の様子をご覧いただきたく、グループ会社のメディア教育センターと  
 タッグを組み、初の試みとしてYouTubeとZoomを組み合わせたインターネット配信を行いました。

学科ごとに分かれて式に参加

出席者全員に検温を実施

## 令和2年度 学位記授与式

— 令和3年3月18日(木) —

卒業生・修了生代表への学位記授与、学長告辞、理事長祝辞(代読)、賞状授与等の後、卒業生、修了生を代表して答辞を述べた高橋 匠君(情報メディア学科)からは、学生生活の思い出や本学卒業生としての抱負の他、学位記授与式を仲間とともに迎えられたことに対する感謝の言葉がありました。

規模縮小のため、式終了後の集合写真撮影や卒業祝賀会は中止となりましたが、学生生活最後の一年をキャンパスで十分に過ごせなかった卒業生たちは、学生生活最後の日を楽しむかのようにキャンパス内は笑顔と笑い声で包まれました。



## 令和3年度 入学式

— 令和3年4月7日(水) —

1,299名(通信教育部含む)が北海道情報大学生としての学生生活をスタートしました。

学長告辞では、西平 順新学長から入学生への歓迎の言葉、本学建学の理念や教育方針、本学が推し進める新しい教育システムの紹介とともに、この歴史の転換期を前向きに捉え、強い気持ちで自己研鑽に励むよう激励の言葉がありました。

また、祝辞・祝電披露、理事長祝辞(代読)等の後、入学生代表 鎌田 葉成さん(情報メディア学科)から宣誓の言葉があり、閉式となりました。







医療情報学部 医療情報学科

講師 木下 弘基

研究分野 臨床心理学  
発達心理学

専門は臨床心理学で、医療や福祉の現場で心理的な問題への支援を行いつつ、児童期、思春期の児童生徒を対象に不登校支援の研究に取り組んでまいりました。



情報メディア学部 情報メディア学科

准教授 湯村 翼

研究分野 ユビキタスコンピューティング  
ヒューマンコンピュータインタラクション  
地球惑星科学

専門は情報科学で、コンピュータと人と社会の新しいインタフェースについて研究しています。昔(学部・修士)は地球惑星科学を専攻し、修士2年間はJAXA宇宙科学研究所で研究していました。



情報メディア学部 情報メディア学科

准教授 平山 晴花

研究分野 電子音楽  
サウンドアート  
現代音楽

専門は音楽で、とりわけ電子音楽、コンピュータ音楽の研究をしています。音および先端芸術の領域において幅広く大学や地域に貢献していければ嬉しい限りです。



情報メディア学部 情報メディア学科

特任講師 織田 哲

研究分野 体育

3月までは38年間、道内の高等学校で保健体育の教員として勤務してまいりましたが、大学というカテゴリーでの勤務は初めてとなります。これからよろしくお願いいたします。

## 新任 教員

NEW  
TEACHERS

## の ご紹介

今年度は7名の教員が新たに着任しました。



情報メディア学部 情報メディア学科

講師 綿谷 貴志

研究分野 スポーツバイオメカニクス  
トレーニング科学

専門はスポーツバイオメカニクスであり、様々なスポーツの動作を分析したり、科学的データを利用したアスリートのサポートを行っています。



医療情報学部 医療情報学科

特任講師 吉村 裕彦

研究分野 英語

専門は英語ですのでTOEIC対策、そして過去の経験を生かしたキャリアデザインI・IIをとおして学生がより良い将来像を描き、社会で活躍できるようお手伝いができればと思っています。

経営情報学部 システム情報学科

特任講師 別所 正一

研究分野 簿記会計  
原価計算  
商業科教育法

前職は、高等学校に勤務。教科は、商業を担当していました。本学では、主に教養科目と教職科目を担当します。教員を目指す学生の皆さんに、少しでも教職の素晴らしさを伝えたいと思っています。



# 新任教員って どんな人たち？

## WHAT KIND OF PEOPLE ARE NEW TEACHERS?

新しく着任された先生たちに、  
今までの経歴やプライベート、  
趣味などを伺ってみました。



ウィーンの  
フロイト博物館を  
訪問



## Koki KINOSHITA

### ＼心理の仕事／

着任前は公的機関の臨床心理士、公認心理師として、子どもから大人まで幅広い対象へ、精神科医療の現場でのカウンセリングや心理検査、デイケア、福祉現場での生活支援、災害時の被災地支援など様々な支援を行ってきました。「心理の仕事」と聞くと相談にのるというイメージが強いかと思いますが、実際の支援の形は多様です。支援の形は多様であっても第一に対象者の心のありように関心を向けることを大事にしました。

### ＼趣味／

史跡巡りが好きです。有名な史跡もよいですが、旅先の路地でたまたま見つけた石碑にも心惹かれます。体を動かす趣味として武道、格闘技をやっていますが、接触を伴うため休止中です。鈍った身体を一から鍛え直したいと思っています。



## Tsubasa YUMURA

Maker Faireという、世界中で開催されている趣味のものづくりの祭典に参加するのが好きで、いままでバイエリア、シンガポール、台北、シンセン、バンコクなど国内外のいろいろな場所で展示しました。

サッカー観戦も好きで、北海道コンサドーレ札幌を応援しています。海外のスタジアムを巡るのも好きです。この文章を書いている現在はワクチン未接種でしばらくずっとテレビ観戦ですが、早く気兼ねなく観戦に行きたいです。

専門外の分野について勉強するのも好きで、最近は神経科学や文化人類学に興味があります。情報科学はいろんな分野と融合できる学際領域ですので、いつかこれらと関連する研究もしていきたいと思っています。



Maker Faireでの展示 in バンコク

私はもともとピアノを習っており、ピアノを弾くのが好きだったことが高じて音楽が研究となり、現在の私につながっています。最近はたまに趣味でピアノを弾く程度ですが、やはり楽器を弾くのは楽しいことで、新しい曲のレパートリーが増えるのも嬉しいものです。

楽器の音から始まり、音への興味は広がる一方で、近年は旅先でも常にマイクを常に持ち歩き、写真を撮るようにさまざまな音を録音します。さて、それをどうするか……について考え始めると、たちまち仕事へ切り替わってしまいます。

北海道は私にとってまだまだ未知の世界ですので、これからゆっくり旅行とともに録音を楽しみたいと思っています。



テキサス州にて  
学会での作品発表



## Haruka HIRAYAMA



# Takashi WATAYA



中学から大学院まで陸上競技に打ち込んできました。専門種目は長距離走で、学校での勉強の傍ら毎日の厳しいトレーニングに励んでいました。競技を引退した後は運動習慣も無くなり体重も増加する一方でしたが、北海道への引っ越しを機にまたランニングを始めました。今後の体型の変化に乞うご期待です。

休日は家族（妻と子ども2人）で公園に出かけることが多いです。北海道は大きな公園も沢山あって、そこで小さなテントを張ったりシートを敷いて、弁当を食べたりするのを楽しんでいます。新型コロナの状況が落ち着いたら北海道内の観光名所を回ったり、美味しいものを食べたりしたいです。



家族と過ごす休日

## ＼読書しませんか！

コロナ禍の中、自宅で過ごす時間が増えました。時間の進み方もゆっくりと感じます。この機会を逃さず、買いだめした本を読んでいます。

素晴らしい本に出会うと、主人公の考えに共感し様々な時代や場所に行った気分になります。最近は、戦国武将の格言や逸話、領国治世、人材活用術などを好んで読みます。例えば、戦国武将が課題に直面し最善の解決策と判断した行動から、失敗や成功した点を読み解くことが面白い。読むことで、判断力や想像力も身につきます。

今年のNHK大河ドラマ『青天を衝け』は、渋沢 栄一氏がモデルです。2024年から新一万円紙幣の顔になる人です。渋沢 栄一氏の名著『論語と算盤』（現代語訳）を読んだことがあります。大河ドラマでは、渋沢 栄一氏の人物像に焦点を当てています。違った視点で、氏の名著を読んでから人物像や考え方を知ってドラマを見ると制作意図も分かります。

読書は、人の見方や考え方を教えてくれます。貴重な時間の中で、良い本と出会うために読書しませんか。



# Shoichi BESSHO

この3月まで（高等学校）は、部活動指導のためプライベートの時間の確保が難しい状況でしたが、現在は時間に余裕が持てるようになったため、有効に活用しています。

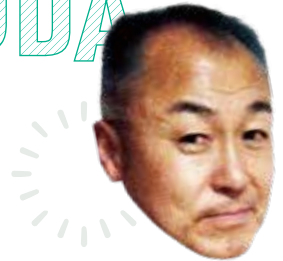
その一つが、趣味というほどではありませんが、自宅周辺の野良仕事（雑草取りや芝刈り、畑仕事等）です。特に夏場は暑さに加えて、雑草の伸びが早く大変ですが、集中力を高めることができたり、加えてやり切った後の達成感がなんとたまりません。

また、これまでは私の都合でなかなか実現できなかった家族との旅行でも時間を使いたいと考えていますが、これには我が家の「金庫番」との難しい調整が必要不可欠となると予想されます。



休日の芝刈り

# Satoru ODA



私は37年間高校の教員を務め、その間全道11校に勤務しました。本学でも学生の皆さんが各地から来ていますが、だいたいどの地域を思い浮かべることができて共感を持てます。

実は私の大学の専門はフランス文学でした。ラヴェルやドビュッシーなどフランスの近代音楽や芸術、そして赤ワインも好きです。何度か渡仏しましたが、もう一度行ってみたいと心から願っています。

趣味は音楽で、昔はバンド活動をしていましたが今はパソコンでカバー曲を録音するなどで自己満足しています。

60代になってからエレキギターを始めました。指を動かすことが老化防止に繋がると信じてやっています。



パリの凱旋門前

# Hirohiko YOSHIMURA



## リアルイベント中止から生まれた 街づくり × ゲームの可能性

かわはら まさる  
情報メディア学科 講師 河原 大



本プロジェクト計画当初は、新ひだか町静内の商店街でeスポーツイベントを開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、オンラインに変更することになりました。そこで利用したのは、世界で一番売れているゲーム『マイクラフト』です。静内の町をマイクラフトのオンライン上に再現し、町を舞台としたeスポーツゲームを開発することにしました。今後は本ワールドを活用し、プログラミング教育や街づくりワークショップを行う予定です。



## 苦心の末作り上げた 再現度の高い街並み

たけうち きよと  
情報メディア学科 4年 竹内 清人



本ワールドの作成にあたって最も努力したことは、上空から見た時の建物のサイズ、位置関係と、地上から見た時の風景両方の違和感を最小限に抑えることです。建物の再現度とサイズ、位置関係のバランスは最後まで悩みました。また、本ワールドに存在するゲームの制作では、通信ラグを考慮したプログラムの調整が大変でした。

ですが、視察を含めた約半年間、1日平均7時間、多い時には12時間作業に取り組んだ甲斐もあって、地域の活性化や教育に役立つコンテンツを作成できたと思います。

今後はこの静内ワールドの更なる発展や、他の街の再現等にもチャレンジしてみたいです。



## eスポーツ地域活

eスポーツの可能性を黎明期からいち早く見出し、それが、eスポーツと地域活性化を掛け合わせたプロジェクトの意義や舞台裏について、

## オンライン体育祭

昨年は中止となった体育祭ですが、今年度は学生実行委員会、eスポーツサークルが中心となり、オンラインという形で開催することができました。

オンライン体育祭 by eスポーツサークルでは、3つのゲームタイトルで大会・交流会を開催。白熱したバトルが繰り広げられ、参加者の皆さんに楽しんでいただきました。

準備期間、当日とすべてオンラインでの進行となりとても厳しい状況でしたが、先生方のご協力で、無事成し遂げることができました。



eスポーツサークル  
情報メディア学科3年  
きたもと しょうむ  
北本 翔夢



学生実行委員会  
実行委員長  
医療情報学科3年  
たなか りこ  
田中 梨湖





にできることを。

# 学生活動

ITやデザインを学ぶ北海道情報大学の学生たちは、常に最先端技術の活用と活動を通じ、日々、新時代を切り開く力を蓄えています。



本プロジェクトで学生が制作したゲーム『トレジャーコレクト』の画面。  
マインクラフト上で再現した、新ひだか町静内の街並みや観光名所を舞台とした宝探しで、仮想の街並みを散策しながら、宝探しの得点を競うことができます。

## プロジェクトによって実現する 地域活性化と教育



先端経営学科 教授 福沢 康弘

このプロジェクトには3つの意義があります。

1つ目は、世界に向けて地域をPRすることができる点です。このゲーム内では参加者は自由に町内を散策できます。このゲームがオンライン上で公開されることにより、世界中の人が新ひだかの街並みを散策して楽しむことができ、町をアピールすることができます。

2つ目は、子どもたちのプログラミング教育への貢献です。小学校などで、「自分たちが考えた街並みや商店街」を自由に考えてもらい、プログラミングでマインクラフト上に再現してもらうことができます。

3つ目は、子どもたちに地域へ目を向けてもらうきっかけにできることです。どのような商店街をつくるかを考えるを通じ、自分の住む町について考えてもらうことができます。

このようにこのプロジェクトは、地域PR、教育への貢献、郷土愛の涵養という多くの可能性を秘めたプロジェクトです。今後は他の地域にも展開していきたいと考えています。

実際のピュアプラザ



マインクラフトで再現したピュアプラザ



## 地域活性化プロジェクト

活動を進めてきた情報大ならではの取り組み。『eスポーツ地域活性化プロジェクト』です。中心人物3名にお話を聞きました。

## オンラインイベント 仲間作りプロジェクト

2021年4月（金曜日5講時）に、オンライン上での学生同士の交流を目的としたイベント『仲間づくりプロジェクト』を開催しました。

Zoomを使用した部活・サークル紹介や、clusterを使用したバーチャル空間内でのアトラクション、学生による学科紹介等を実施し、全4回の累計で692名が参加しました。



新世代の学生に対応する教育環境検討WG リーダー  
情報メディア学科 教授 齋藤 一



「cluster」を使ったプロジェクトの様子

### 参加学生の声 /

先輩方が作ったサークルの説明もわかりやすく、疑問に思ったこともチューター先輩方が丁寧に対応してくれたので、非常に楽しい時間を過ごすことができました。

コロナ禍であまり交流ができない中、こういう機会を作っていただけて本当に良かったです！ありがとうございました！

VR内でパワーポイントを使って説明していたり、VRキャラクターを変えている人がいてすごいと思いました。これからそういった技術を学べると思うと楽しみです。

# 学校法人 電子開発学園 令和2年度決算の概要

令和2年度決算が理事会ならびに評議員会で承認されましたので、その概要についてお知らせいたします。

学校法人会計の計算書類は、資金繰りの状態を示す「資金収支計算書」、経営状態を示す「事業活動収支計算書」、財政状態を示す「貸借対照表」により表示し、私立学校法第47条および学校法人会計基準第4条に定められた規則に基づき作成したものです。

## 1. 資金収支計算書

令和2年度の収支状況を資金収支計算書により資金の流れを予算と決算で比較します。

### (1) 収入の部

学生生徒等納付金収入で9百万円増加、手数料収入で12百万円増加、補助金収入で39百万円増加、付随事業・収益事業収入で百万円減少、受取利息・配当金収入で3百万円増加、学費前受金収入で1億36百万円増加、その他の収入で4億95百万円増加しました。収入の部合計は105億78百万円となりました。

### (2) 支出の部

人件費で13百万円減少、教育研究経費及び管理経費で68百万円減少、施設関係支出及び設備関係支出で3百万円増加、資産運用支出で4億15百万円増加、その他の支出で1億57百万円増加しました。翌年度繰越支払資金は54億97百万円で2億13百万円増加し、支出の部合計は105億78百万円となりました。

## 2. 事業活動収支計算書

令和2年度の事業活動状況を事業活動収支計算書により「教育活動収支」、「教育活動外収支」、「特別収支」の3つの事業活動に区分し、それぞれの収支状況を予算と決算で比較します。

### (教育活動収支)

#### (1) 収入の部

学生生徒等納付金で9百万円増加、手数料で12百万円増加、経常費等補助金で39百万円増加、雑収入で4百万円増加となり、収入合計は46億63百万円で、62百万円増加となりました。

#### (2) 支出の部

人件費で7百万円減少、教育研究経費及び管理経費で72百万円減少、徴収不能額等で5百万円減少となり、支出合計は42億36百万円で、84百万円減少となりました。「教育活動収支差額」は4億27百万円となり、1億46百万円増加となりました。

### (教育活動外収支)

- (1) 収入は受取利息・配当金が41百万円で3百万円増加となりました。
- (2) 支出は借入金等利息が7百万円で、「教育活動外収支差額」は34百万円で、3百万円増加となりました。「経常収支差額」は4億61百万円となり、1億49百万円増加となりました。

### (特別収支)

- (1) 収入は18百万円で2百万円増加となりました。
- (2) 支出は31百万円で4百万円増加となり、「特別収支差額」は△13百万円となり、2百万円減少となりました。

「基本金組入前当年度収支差額」は4億48百万円で1億47百万円増加となりました。「基本金組入額合計」は2億32百万円で25百万円減少となりました。「当年度収支差額」は2億16百万円で1億73百万円増加となりました。「翌年度繰越収支差額」は8億77百万円で1億73百万円増加となりました。

## 3. 貸借対照表

令和2年度の財政状態を貸借対照表により本年度末と前年度末で比較します。

### (1) 資産の部

合計で161億21百万円と前年度末対比で4億67百万円増加しました。「固定資産」は主に建物が大学の国際交流センター冷暖房設備等・専門学校改修工事等で44百万円増加、大学の本部棟等の空調設備の除却で7百万円減少、減価償却額で1億71百万円減少しました。構築物が大学の野球場整備及び専門学校の4号館跡地整備で36百万円増加、減価償却額で5百万円減少しました。教育研究用機器備品が大学の実習室パソコン・タブレットPC・専門学校の実習室ノートパソコン等の備品購入で1億16百万円増加、大学の実習室等設備及び専門学校の衛星設備の除却で1億9百万円減少、減価償却額で1億11百万円減少しました。管理用機器備品が大学及び専門学校の機器備品購入等で13百万円増加、大学の厨房設備及び専門学校の機器備品の除却で6百万円減少、減価償却額で3百万円減少しました。図書が書籍購入等で8百万円増加、図書の除却で3百万円減少、第2号基本金引当特定資産が50百万円増加、退職給与引当特定資産が44百万円増加しました。ソフトウェアがキャンパスシステムの改修で16百万円増加、減価償却額で35百万円減少しました。これにより固定資産合計104億30百万円で17百万円減少となりました。「流動資産」は56億91百万円で4億85百万円増加し、主に現金預金が増加し、4億34百万円増加となりました。

### (2) 負債の部

合計で28億57百万円と前年度末対比で20百万円増加しました。「固定負債」はeDCタワー等の長期借入金で41百万円減少、退職給与引当金が45百万円増加、長期未払金が5百万円減少し、合計百万円減少となりました。「流動負債」はeDCタワー等の短期借入金で38百万円減少、未払金が40百万円減少、学費前受金が1億60百万円増加し、合計21百万円増加となりました。

### (3) 純資産の部

合計で132億65百万円と前年度末対比で4億48百万円増加しました。「基本金」は123億88百万円で固定資産のうち継続的に保持すると判断されるものの額を示す第1号基本金の組入額が1億82百万円増加、将来取得する固定資産の取得に充てる資産の額である第2号基本金の組入が50百万円増加しました。

1. 資金収支計算書 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

収入の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,519,243,000	3,527,874,532	△8,631,532
手数料収入	31,675,000	43,939,258	△12,264,258
寄付金収入	3,810,000	4,229,000	△419,000
補助金収入	537,011,000	575,595,659	△38,584,659
国庫補助金収入	416,673,000	452,498,400	△35,825,400
地方公共団体補助金収入	120,338,000	123,097,259	△2,759,259
資産売却収入	100,000,000	100,003,986	△3,986
付随事業・収益事業収入	380,142,000	378,655,867	1,486,133
受取利息・配当金収入	38,100,000	41,435,402	△3,335,402
雑収入	111,085,000	113,924,557	△2,839,557
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,327,291,000	1,463,445,006	△136,154,006
その他の収入	212,513,000	707,444,028	△494,931,028
資金収入調整勘定	△1,415,081,000	△1,441,243,066	26,162,066
前年度繰越支払資金	5,062,238,000	5,062,238,579	△579
<b>収入の部合計</b>	<b>9,908,027,000</b>	<b>10,577,542,808</b>	<b>△669,515,808</b>

支出の部 (単位:円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,819,534,000	1,806,891,669	12,642,331
教育研究経費支出	1,475,022,000	1,434,650,091	40,371,909
管理経費支出	618,117,000	590,324,452	27,792,548
借入金等利息支出	7,219,000	7,218,034	966
借入金等返済支出	79,536,000	79,160,000	376,000
施設関係支出	78,808,000	79,809,940	△1,001,940
設備関係支出	143,194,000	145,550,204	△2,356,204
資産運用支出	284,360,000	699,156,455	△414,796,455
その他の支出	588,307,000	744,856,116	△156,549,116
資金支出調整勘定	△469,516,000	△506,616,910	37,100,910
翌年度繰越支払資金	5,283,446,000	5,496,542,757	△213,096,757
<b>支出の部合計</b>	<b>9,908,027,000</b>	<b>10,577,542,808</b>	<b>△669,515,808</b>

活動区分資金収支計算書 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

			(単位:円)	
科目		金額		
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	3,527,874,532	
		手数料収入	43,939,258	
		特別寄付金収入	2,043,167	
		一般寄付金収入	2,069,000	
		経常費等補助金収入	568,531,659	
		付随事業収入	378,655,867	
		雑収入	112,769,027	
		教育活動資金収入計	4,635,882,510	
	支出	人件費支出	1,806,891,669	
		教育研究経費支出	1,434,650,091	
管理経費支出		585,266,932		
教育活動資金支出計	3,826,808,692			
差引	809,073,818			
調整勘定等	67,860,246			
教育活動資金収支差額	876,934,064			
施設整備等活動による資金収支	収入	施設設備寄付金収入	116,833	
		施設設備補助金収入	7,064,000	
		施設設備売却収入	3,986	
	施設整備等活動資金収入計	7,184,819		
	支出	施設関係支出	79,809,940	
		設備関係支出	145,550,204	
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	50,000,000	
	施設整備等活動資金支出計	275,360,144		
	差引	△268,175,325		
	調整勘定等	△15,347,646		
施設整備等活動資金収支差額	△283,522,971			
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	593,411,093			

			(単位:円)	
科目		金額		
その他の活動による資金収支	収入	有価証券売却収入	100,000,000	
		退職給与引当特定資産取崩収入	105,440,252	
		長期預金繰入収入	400,000,000	
		その他の収入	127,256,923	
		小計	732,697,175	
	支出	受取利息・配当金収入	41,435,402	
		過年度修正収入	1,155,530	
		その他の活動資金収入計	775,288,107	
		借入金等返済支出	79,160,000	
		有価証券購入支出	100,000,000	
退職給与引当特定資産繰入支出	149,156,455			
長期預金繰入支出	400,000,000			
その他の支出	192,485,689			
小計	920,802,144			
借入金等利息支出	7,218,034			
過年度修正支出	5,057,520			
その他の活動資金支出計	933,077,698			
差引	△157,789,591			
調整勘定等	△1,317,324			
その他の活動資金収支差額	△159,106,915			
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	434,304,178			
前年度繰越支払資金	5,062,238,579			
翌年度繰越支払資金	5,496,542,757			



2. 事業活動収支計算書 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,519,243,000	3,527,874,532	△8,631,532
		手数料	31,675,000	43,939,258	△12,264,258
		寄付金	3,710,000	4,112,167	△402,167
		経常費等補助金	529,947,000	568,531,659	△38,584,659
		国庫補助金	409,609,000	445,434,400	△35,825,400
		地方公共団体補助金	120,338,000	123,097,259	△2,759,259
		付随事業収入	380,142,000	378,655,867	1,486,133
		雑収入	136,374,000	140,119,309	△3,745,309
		教育活動収入計	4,601,091,000	4,663,232,792	△62,141,792
事業活動支出の部	事業活動支出の部	人件費	1,868,816,000	1,862,052,475	6,763,525
		教育研究経費	1,759,556,000	1,718,405,807	41,150,193
		管理経費	660,583,000	629,457,683	31,125,317
		徴収不能額等	30,847,000	26,340,090	4,506,910
		教育活動支出計	4,319,802,000	4,236,256,055	83,545,945
教育活動収支差額	281,289,000	426,976,737	△145,687,737		

(単位：円)

科目		予算	決算	差異	
教育活動外収支	事業収入の部	受取利息・配当金	38,100,000	41,435,402	△3,335,402
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	38,100,000	41,435,402	△3,335,402
	事業支出の部	借入金等利息	7,219,000	7,218,034	966
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	7,219,000	7,218,034	966
教育活動外収支差額	30,881,000	34,217,368	△3,336,368		
経常収支差額	312,170,000	461,194,105	△149,024,105		
特別収支	収入の部	資産売却差額	0	3,986	△3,986
		その他の特別収入	15,836,000	17,992,662	△2,156,662
		特別収入計	15,836,000	17,996,648	△2,160,648
	支出の部	資産処分差額	8,950,000	9,225,804	△275,804
		その他の特別支出	18,755,000	22,227,814	△3,472,814
		特別支出計	27,705,000	31,453,618	△3,748,618
特別収支差額	△11,869,000	△13,456,970	1,587,970		
基本金組入前当年度収支差額	300,301,000	447,737,135	△147,436,135		
基本金組入額合計	△256,853,000	△231,770,073	△25,082,927		
当年度収支差額	43,448,000	215,967,062	△172,519,062		
前年度繰越収支差額	660,878,000	660,878,001	△1		
翌年度繰越収支差額	704,326,000	876,845,063	△172,519,063		

(参考) (単位：円)

事業活動収入計	4,655,027,000	4,722,664,842	△67,637,842
事業活動支出計	4,354,726,000	4,274,927,707	79,798,293

3. 貸借対照表 令和3年3月31日

資産の部 (単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	10,430,327,537	10,447,652,200	△17,324,663
有形固定資産	6,680,182,944	6,765,534,664	△85,351,720
土地	1,725,516,149	1,725,516,149	0
建物	4,002,528,234	4,130,368,985	△127,840,751
構築物	81,286,777	50,784,952	30,501,825
教育研究用機器備品	362,988,066	363,341,730	△353,664
管理用機器備品	38,812,581	29,717,887	9,094,694
図書	463,883,575	458,739,070	5,144,505
車両	5,167,562	7,065,891	△1,898,329
特定資産	517,235,311	423,519,108	93,716,203
第2号基本金引当特定資産	150,000,000	100,000,000	50,000,000
退職給与引当特定資産	367,235,311	323,519,108	43,716,203
その他の固定資産	3,232,909,282	3,258,598,428	△25,689,146
ソフトウェア	195,454,713	214,525,859	△19,071,146
有価証券	2,500,000,000	2,500,000,000	0
長期預金	500,000,000	500,000,000	0
その他の固定資産	37,454,569	44,072,569	△6,618,000
流動資産	5,690,980,483	5,206,306,330	484,674,153
現金預金	5,496,542,757	5,062,238,579	434,304,178
未収入金	112,094,076	76,088,013	36,006,063
その他の流動資産	82,343,650	67,979,738	14,363,912
資産の部合計	16,121,308,020	15,653,958,530	467,349,490

負債の部 (単位：円)

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	829,752,377	831,025,796	△1,273,419
長期借入金	333,280,000	374,940,000	△41,660,000
退職給与引当金	408,221,660	363,240,842	44,980,818
長期未払金	88,250,717	92,844,954	△4,594,237
流動負債	2,026,971,701	2,006,085,927	20,885,774
短期借入金	41,660,000	79,160,000	△37,500,000
未払金	484,381,739	524,298,476	△39,916,737
前受金	1,464,505,006	1,304,696,060	159,808,946
預り金	36,424,956	97,931,391	△61,506,435
負債の部合計	2,856,724,078	2,837,111,723	19,612,355
純資産の部 (単位：円)			
基本金	12,387,738,879	12,155,968,806	231,770,073
第1号基本金	11,934,738,879	11,752,968,806	181,770,073
第2号基本金	150,000,000	100,000,000	50,000,000
第4号基本金	303,000,000	303,000,000	0
繰越収支差額	876,845,063	660,878,001	215,967,062
翌年度繰越収支差額	876,845,063	660,878,001	215,967,062
純資産の部合計	13,264,583,942	12,816,846,807	447,737,135
負債及び純資産の部合計	16,121,308,020	15,653,958,530	467,349,490

09

2021

- ～4日(土) 追再試験期間
- ～15日(水) 夏季授業休業期間
- 16日(木) 後期スタートアッププログラム
- 17日(金) 後期 授業開始
- 21日(火) 木曜授業日

10

2021

- 8日(金) 授業休講
- 9日(土)～10日(日) 蒼天祭
- 11日(月) 授業休講
- 16日(土) 月曜授業日
- 23日(土) 保護者と教員の懇談会

11

2021

- 17日(水) 後期前半 授業終了
- 18日(木) 後期後半 授業開始
- 23日(火) 通常授業日

12

2021

- 28日(火)～ 年末年始授業休業期間

01

2022

- ～10日(月) 年末年始授業休業期間
- 11日(火) 授業開始
- 15日(土)～16日(日) 大学入学共通テスト  
(立入禁止)
- 27日(木)～28日(金) 合同試験日
- 29日(土)～ 春季授業休業期間

02

2022

- 2日(水)～3日(木) 一般1期入試
- 7日(月)～12日(土) 冬期集中授業期間
- 14日(月)～19日(土) 後期追再試験期間

03

2022

- 18日(金) 学位記授与式

今回の表紙写真は、昨年度リニューアルした野球場です。フェンスやブルペンも新設され、とてもきれいに生まれ変わりました。

撮影は編集を担当している大学広報プロジェクトメンバーで行いました。構図や光など、試行錯誤しながらの撮影会。さて、誰が撮影したものが採用となったのか。

本学でもワクチン接種が進んでいます。少しでも早く学生達が大学へきて、野球場でも思いっきりプレーする姿をみたいです！



#### 大学広報プロジェクトメンバー

あんないたかし おだじま けいた きのした あつし  
 安倍 隆 / 小田島 敬太 / 木下 篤史  
 さとう まみこ なかみち だいき にたとり かつま  
 佐藤 真美子 / 中道 大樹 / 似鳥 克馬

「ななかまど」バックナンバーは  
 大学Webサイトでご覧いただけます。

情報大 ななかまど

検索





# 北海道情報大学

〒069-8585 北海道江別市西野幌 59-2  
TEL : 011-385-4411 (代表)